

みなさん、おはようございます。

今日で一学期の学校生活が終わります。本当にお疲れさまでした。149名の1年生を迎え入れ、総勢420名でスタートした令和2年度。

新型コロナウイルスの感染が広がり、入学式や始業式も今までと同じような満足な形で実施できず、皆さんは先が見えない不安や焦りを感じながら新年度をスタートしなければなりませんでした。それぞれに気持ちを新たに、目標を設定し準備をしてくれたと思うのですが、残念ながら休校が続きました。これまで経験したことのない自粛生活を強いられ、精神的にも肉体的にも辛い日々を過ごしてきました。ただ、このような生活をしたからこそ、普通であること、当たり前であることのありがたさを認識することもできたのではないのでしょうか。これからの生活の中で、ぜひ、この気持ちを忘れないでください。

まだまだ、このコロナの問題は続きますので、終わったような話は少し早いのですが、歴史を振り返ると、我々日本人は今回のような試練を幾度となく経験しています。約10年前には東日本大震災、約25年前には阪神淡路大震災、そして毎年のように大雨や台風などによる大きな災害によって多くの命や財産が失われています。おそらく皆さんのこれからの長い人生を考えると、何らかの試練には必ず遭遇することが予想されます。したがって、非常事態に対して、何が大切なのか、この機会にぜひ考えてみてください。

困難な場面に遭遇した時、最終的に自分の命や健康を守ってくれるのは自分です。そのためには、日頃から積極的に情報を集め、判断し、行動する力を身につけて、責任ある行動を求められます。さらに、今回のようなきわめて深刻な事態には、個人がしっかりとするとともに、社会が一致団結して立ち向かわなければなりません。その時に、人々を結びつけるのが「優しさ」だと思います。その優しさは、決して弱いものではなく、逆にどんなことにも打ち勝つことのできる強いものです。これからの生活の中で、家族や友人、自分に関わっているすべての人たちのために努力できる優しさや思いやりの心を育ててほしいと思います。

さて、明日から夏休みです。今年は短い夏休みですが、具体的な目標を持って過ごすとともに、家族のために何か役立つような取組をして、事故なく、けがなく、非行なく、充実した19日間にしてください。

目標は、どんな目標でもかまいません。学習のことでも部活のことでも、心がけでも、何でもいいから毎日続けたいことを決めてください。そして、それを続けてください。続けようとする意識が、自分の生活を大きく変えてくれると思います。

最後になりますが、皆さんにとって一番大事なものは、命です。その命を自分でしっかりと守ってください。例えば、コロナ対策として、ソーシャルディスタンス、マスクの着用、手洗いといった「新しい生活様式」を行う、また、自転車に乗るときには、ヘルメットをかぶる、交通ルールやマナーを守る。道路等の危険な場所での遊びをしない。などで、身を守ってください。

それでは、みなさん、有意義な夏休みを過ごしてください。8月20日には、元気に会いましょう。